



登園できるか迷うとき…



保育園は、年齢の低いお子さんが長時間にわたり集団で生活をしています。毎日の保育園生活では、体調をくずした時に、受診の目安や体力回復の判断で悩まれる保護者の方も多いかと思います。体調に不安がある状態での登園は、お子さんの体に負担をかけ、病気が長引いたり悪化したりする他、他のお子さんへ感染を拡げてしまうこともあります。お子さんの個人差もありますが、保育園生活を健康に送れるように、この用紙をご活用ください。

八千代市で設置されている、*『保育園等健康支援検討委員会』の医師から、症状に応じたアドバイスをいただいております。下記の症状がみられた際には、まずは受診し登園が可能かご相談ください。

～『保育園等健康支援検討委員会』とは～

保育園児の健康を支援するために、医師会より推薦された医師3名と、公立・私立保育園の代表者により構成されている委員会です。

※下記の症状がなくても、「ぐったりしている、機嫌が非常に悪い、元気がない、顔色が悪い」等の症状がみられましたら、受診くださいますよう、お願いいたします。

《すぐに受診した方がいいと思われる症状》

発熱

- 前日から38℃以上の熱がでていた。
- 前日から当日朝の間に解熱剤を使用した。
- 発熱以外にも、咳、鼻水、下痢、嘔吐を伴う時。
- 食欲がなくて水分も十分にとれない時。
- ★乳児が高い熱を出した時は、肺炎、尿路感染症、髄膜炎などの可能性が高いので、早めに受診しましょう。



咳

- ★乳幼児では、普段より呼吸数が多く、顔色が悪い時は急いで受診してください。
- 呼吸が苦しそうでゼイゼイしている。息を吸う時に肩を激しく上下させ、肋骨の上や間がペコペコへこむ呼吸（陥没呼吸）をしていたりする時。
- 痰がからまない乾いた咳が30分以上も止まらない時。
- 熱があったり、何度も咳こんで吐いたりする時。
- 眠れない・食事や水分が摂れない時など。



嘔吐

- 吐いたものの中に血液や胆汁（緑色の液体）が混ざる時。
- 続けて何回も吐いてしまう時。
- 強い頭痛を伴う時。
- ひきつけたり、意識がぼんやりしている時。
- おしっこが半日も出ない時。



皮膚

- 発疹の他に発熱を伴う時。
- 発疹が増えたり、水泡ができたりする時。
- 口内炎の他、手足にも発疹が出ている時。
- とびひが疑われる時。
 - ・周りにもとんでいる。
 - ・浸出液がでている。



下痢

- 便の中に、血液や粘液が混ざる時。
- 腹痛が強く、下痢が複数回続く時。
- 食欲がなく、水分が十分とれない時。
- 吐き気や嘔吐をとまなう時。
- おしっこが半日も出ない時。



眼

- 充血がひどい。
- 目やにが多い。
- 目を痛がったり、かゆがったりする。
- まぶたが腫れている。

